

平成 30 年度第 1 回

登録保温保冷基幹技能者講習

試験問題 (90 分)

【注意事項】

- 1) 講習管理員から指示があるまで、試験問題は開かないで下さい。
- 2) 解答用紙には、必ず受講番号、氏名を正確に記入してください。
- 3) 机の上には、受講票、筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル）、消しゴム以外は置かないで下さい。テキスト、電卓、携帯電話などの使用は出来ません。
- 4) 試験問題は、4 肢択一問題と記述式問題に分かれています。
- 5) **4 肢択一問題**は、マークシートの①②③④の選択肢から**正解を 1 つ**選び、「○」を鉛筆で「●」のように塗りつぶして下さい。2 つ以上選んだ場合は、不正解となります。
- 6) マークシートの塗りつぶした「●」を変更する際は、消しゴムでよく消してから別の「○」を塗りつぶして下さい。よく消していない場合、誤答となることがあります。
- 7) **B 群記述式問題は必須**ですので、解答欄には必ず記入して下さい。空欄のままでは不合格となります。また、正解は一つではありません。講習で学んだこと、テキストの重要ポイントを念頭において、自分の考えで記述して下さい。
- 8) 講習管理員の「試験開始」の合図で始めてください。「試験終了」の合図があったら、筆記用具を置き指示に従って下さい。
- 9) 試験問題に、落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には、黙って手を挙げ申し出て下さい。
- 10) 時間内に終了した人は、手を挙げて管理員の許可を得て退席してください。**ただし、試験開始後 30 分間は席を立てません。**
- 11) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- 12) 解答用紙は回収しますので、退場するとき机の上に伏せて置いて下さい。試験問題、受講票は持ち帰って下さい。

平成 30 年 5 月 26 日

一般社団法人 日本保温保冷工業協会

A群 四枝択一問題 28問

1. 空調設備を構成している機器・装置に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
 - ① 空気調和機
 - ② 熱源装置
 - ③ 排水装置
 - ④ 制御装置

2. 施工計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
 - ① 施工計画の目標は、施工者にとって適切な品質、工期、価格で、意図する成果物を提供することである。
 - ② 施工計画を立てるには、工事の契約書、設計図書等を十分に理解しなければならない。
 - ③ 施工計画の目標は、施工者が所定の工事期間内に施工できるような条件と方法を生み出すことでもある。
 - ④ 施工計画を立てるには、現場条件を十分に調査しておかなければならない。

3. 積算における直接工事費に含まれる費用のうち、最も不適当なものはどれか。
 - ① 現場管理費
 - ② 労務費
 - ③ 運搬費
 - ④ 材料費

4. リスクアセスメントに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
 - ① 作業に潜在する危険性・有害性を見つけ出す。
 - ② 実施にあたっては、作業内容に関して最も詳しい職長が行うのがのぞましい。
 - ③ 作業計画や作業手順を作成する時に、役立てる手法である。
 - ④ リスクアセスメントは、すべての建設企業の義務事項である。

5. OJTを進める上で重要なポイントに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
- ① 教える相手に何を教えるのかを把握する。
 - ② 教える相手にどの程度教えるのかを把握する。
 - ③ 教える相手の現有能力を把握する。
 - ④ 教える相手がいち早く学べるように進める。
6. 建設業法に規定されている請負契約に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
- ① 元請負人は下請負工事が完成した通知を受けたとき、30日以内に検査を完了しなければならない。
 - ② 請け負った建設工事を、一括して他人に請負わせてはならない。
 - ③ 請負契約は法に定める事項を書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。
 - ④ 請負人は、現場代理人の選任等の通知は、書面により注文者に行わなければならない。
7. 建設産業における建設投資の推移に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
- ① 現在、国内総生産に占める建設業の比率は10%付近である。
 - ② 消費税の導入時はその前後で、民間・政府とも建設投資が大きく増減した。
 - ③ バブル崩壊後、民間の建設投資は減少傾向が続いたが、政府建設投資を下回ることはなかった。
 - ④ 近年の政府建設投資は、平成になってからのピーク時に比べ、半減したといえる。
8. 資材管理計画のポイントに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
- ① 施工図、アイソメ図等から資材量を積算し、現場在庫が出ないように計画する。
 - ② 工事が開始されたら、資材は早めに搬入し、在庫を確保しておく。
 - ③ 技術者やエンジニアリングメーカー担当者に、支給品の確認を行う
 - ④ 施工中は、工程の進捗度に応じて予定量と実績値の比較チェック及び調整を行う。
9. 工程が遅れる原因に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。
- ① 揚重期間・時間の制約
 - ② 他業種との工程バッティング
 - ③ 安全パトロールでの作業手順の確認
 - ④ 必要資材の手配遅れ並びにミス

10. 品質管理の効果に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 客先、施主、他業種業者等の信用度が高くなる。
- ② 施工現場は製造業と同様に単純連続作業が行え、効果はすぐに期待できる。
- ③ 問題点が解消し、改善が進むことにより、施工能力が向上する。
- ④ 保証工事、駄目工事、無駄作業が減少し、コストダウンにつながる。

11. 作業員の適正配置を考慮するための個人特性に関する記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 法定資格には、車両系建設機械運転免許や技能講習受講等がある。
- ② 法定教育受講には、職長・安全衛生責任者教育等がある。
- ③ 技能には、実務経験年数、労災事故受傷経験の有無等がある。
- ④ 健康度には、年齢、持病の有無、当日の体調、体力、体質等がある。

12. 追加変更工事で建設業法遵守事項に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 災害時等でやむを得ない場合は、着工後に契約変更をしても良い。
- ② 変更数量等が未確定の場合は、工事完了後に契約変更の協議をすることが必要。
- ③ 追加工事等の着工前に、書面による契約変更が必要。
- ④ 工期変更する場合、かかる費用を着工前に下請人と協議し、書面による契約変更が必要。

13. 安全衛生責任者の役割と職務、体制に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 大半の建設工事現場では、安全衛生責任者が職長を兼務している。
- ② 下請、再下請相互間の連絡・調整をする。
- ③ 混在作業によって生ずる労働災害に係る危険の有無を確認する。
- ④ 安全衛生協議会を設置し、運営する。

14. 極低温のLNGタンク等の施工に使用される保冷材料に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 硬質ウレタンフォーム
- ② パーライト
- ③ ポリスチレンフォーム
- ④ 多泡ガラス

15. IT化に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① IT化とは、企業・国家の経済繁栄のためにITを活用することである。
- ② 情報化とは、教育・日常生活などの様々な場面にて、ITが浸透することである。
- ③ IT化と情報化は、目的と手段が全く異なる。
- ④ IT化・情報化は、あくまでも手段(ツール)の高度化を意味する。

16. OJTの意義と成果に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 部下の仕事遂行能力を高める教育・指導が必要で、その有効な手段である。
- ② 職場内でのコミュニケーションの場として役立つものではない。
- ③ 仕事の改善向上につながる。
- ④ 上司自身の能力開発に結びつく。

17. 建設業法に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 二つ以上の都道府県に営業所を設けて営業する場合には、国土交通大臣の許可が必要である。
- ② 建設業の許可は、営業する職種ごとに取得する必要があり、29業種ある。
- ③ 建設業許可の有効期限は5年間有効で、5年ごとに更新が必要である。
- ④ 請負金額が2,000万円未満の「軽微な建設工事」は、建設業許可が不要である。

18. 登録基幹技能者の役割に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 現場の状況に応じた施工方法の提案・調整
- ② 保温保冷工事全般の作業管理・指示・指導
- ③ 指示された作業の段取り
- ④ 職種に係る施工計画の策定

19. 環境保全計画の検討項目に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 労働環境の保全・・・ 出面表、作業員集計表、労働者名簿等の書類整備
- ② 公害の防止・・・ 大気汚染、水質汚濁の防止対策
- ③ 近隣環境の保全・・・ 土砂や排水の流出、井戸枯れ、電波障害などの事業損失の防止対策
- ④ 自然環境の保全・・・ 植物の保護、生物の保護

20. 「先手を打つ」工程計画で検討すべき項目に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 並行して行われる作業は何か。
- ② 相互に関係する作業は何か。
- ③ 各作業に要する日数はどのくらいか。
- ④ 発生した廃棄物の分別はどうしたら良いか。

21. 登録基幹技能者に求められる品質管理能力に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 顧客が要求する以上の成果物を提供すること。
- ② 複数の品質管理手法を自在に使いこなせる。
- ③ 施工、引渡の過程における質の高さも求められる。
- ④ 独自の品質管理手法を確立させている。

22. 資材保管管理に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 保温工事に供する資材は、水分湿気に弱いものが多く、水濡れ防止を心掛ける。
- ② 現場内に資材を仮置きする場合は、自工事の作業工程を優先し仮置きする。
- ③ 資材の盗難保険、火災保険、組立保険等の加入も検討する必要がある。
- ④ 資材の盗難予防策として、倉庫の窓の目隠し、出入口の施錠、警報装置を設置することが考えられる。

23. 実行予算に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 実行予算は、通常は作業所長等と工事担当責任者が入って作成する。
- ② 実行予算が、現場での原価管理の基準・目標となる。
- ③ 実行予算は、積算と同じものである。
- ④ 実行予算は、今後発生する原価との差異を常に把握するためには必須である。

24. 安全施工サイクルの実施に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 安全朝礼で、心身の事前準備、就労人数の確認、必要事項を周知する。
- ② 安全ミーティングで、健康状態の問いかけ、作業員の適正配置、KY活動の実施、作業指示をする。
- ③ 安全工程打合せで、翌日の作業手配、他職種との作業調整をする。
- ④ 作業指示終了後KYは、トラブル対応時に実施すればいい。

25. 施工業務に関する記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 近隣トラブル等の対処
- ② 設計図書の作成
- ③ 見積金額の算出および実行予算書の作成
- ④ 竣工図書の作成

26. 環境問題対応製品に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 現在、建築・プラント設備の保温保冷工事として真空断熱材の応用が進んでいる。
- ② ウレタンフォームは、ノンフロン化の動きが急速化している。
- ③ 保温廃材の処理方法として、廃材の減容処理及びリサイクルがある。
- ④ 廃材の出ない工期短縮タイプの脱着自在型の保温材が利用されている。

27. OJT実践による職場全体のメリットに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 職場活性化
- ② 社員の成長・育成
- ③ きめ細かな部下管理
- ④ 業績向上

28. 特別教育を必要とする危険有害業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 足場の組立て、解体又は変更の作業に係わる業務
- ② 粉じん障害防止規則第2条1項3号の特定粉じん作業
- ③ 酸素欠乏危険作業にかかる業務
- ④ 作業床の高さ10m以上の高所作業車運転業務

B群 記述式問題 2問

設問1 あなたが今回の講習を受け、登録基幹技能者として重要と思われる役割の中で、特に重要と考えている役割を一つだけ記入しなさい。

管理

設問2 また、あなたは単に職長としてではなく、登録基幹技能者として具体的に現場でどのような行動をしようと考えているか記述しなさい。